

農業大学校紹介動画①概要・施設紹介編（5分版） 字幕

埼玉県農業大学校には畑や田んぼ、ハウス。植木や牛舎まで、農業を学ぶ環境がすべてそろっているんです。

たくさんの魅力が詰まった『埼玉県農業大学校』を、私、埼玉県秩父市出身、落語家の林家たい平が、たっぷりにご紹介します！

埼玉県農業大学校は、農業及びその関連産業の担い手を養成することを目的とした専修学校です。

専攻は、2年課程の4学科6専攻と1年課程の1学科2専攻の合計5学科8専攻に分かれていて、豊富な実習や専門性の高い講義により実践的な知識と技術を身につけることができます。

学生たちが通っているのが、このキャンパスです。木の温かみがあって、周りの自然によく馴染んだオシャレな建物ですね！

キャンパスがあるのは、埼玉県熊谷市。県内有数の農業地帯であり、農業を学ぶ場としてピッタリ！

通学方法は、JR高崎線熊谷駅などからバス等で通うことができます。

通うのが大変という方には、学生寮もあるので安心ですよ。

それでは早速学校の中を見ていきましょう。正門を入れて進んでいくと...、アレ？お店のような建物がありますね。

実はここ、販売実習棟と言って、学生たちが育てた野菜や花などを、一般向けに販売しているんです。

ここに並んでいる農産物、どうやって作っているのか、早速見てみましょう！

ここは、「施設栽培専攻」の学生たちが栽培を行っているハウスです。
トマトやイチゴ、きゅうりなどの果菜類を栽培しています。

野菜の栽培方法や、施設・装置の使用方法を覚えて、
立派な野菜を作れるようになるんですね。

おっ、こっちは、畑ですね！
葉菜類・根菜類・果菜類など、畑で栽培する野菜について学んでいます。
作業をしているのは、「露地栽培専攻」の学生です。

広い畑での農作業には欠かせないトラクター。
隣接する総合教育センター江南支所にある、教習コースで
練習して、免許を取ることもできるんです！

フォークリフトの運転資格や食品衛生管理者など、様々な資格を取ることが
できますよ。

水田では、田植えをしていますね。
水稻、小麦、大豆の主穀栽培技術を学んでいる「水田複合専攻」です。

埼玉県が育成したブランド米「彩のきずな」などを栽培する水田で実習を行って
います。

また、収穫したお米や大豆を使って味噌を作ったり、
食品の加工技術を学んだりもしています。

こちらは、「花き専攻」の栽培ハウスです。
切り花や鉢花、花壇苗を栽培し、販売もしています。

こちらで木の剪定作業を行っているのは、「植木造園専攻」の学生です。
木の刈り込みや剪定技術、庭園管理などについて学びます。

ここは、「酪農専攻」の牛舎ですね！
子牛から成牛まで、60頭くらいの乳牛を飼育していて、
繁殖の管理やエサとなる飼料作物の栽培など、
酪農に関する技術の全般を学んでいます。

子牛さん、可愛い～！！

このほかにも、講義を受ける教室や、情報処理室、図書室など数多くの施設があります。

実習で生産した農産物を食材として利用している学生食堂や、イベントの機会に集まる講堂などもあり、充実した学生生活が送れそうです。

卒業後の進路決定率が高いことも自慢の埼玉県農業大学校。

卒業生は、独立して農業を始めたり、農業関連の企業に就職したりと、埼玉県の農業の未来を支えているんです。

みなさんも、キラキラ輝く、新しい自分を見つけてみませんか？